

平成23年7月15日

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察防除情報第6号

普通期水稲 トビイロウンカ、コブノメイガの防除対策について

現在の飛来・発生状況は下記のとおりですので、圃場での発生に注意して防除の徹底をお願いします。

記

1. 飛来・発生状況

(1) トビイロウンカ

ア 7月15日時点で予察灯(白熱灯)、ネットトラップでの誘殺を認めていない。

イ 7月上旬の巡回調査(89筆)の結果、発生を認めなかった(平年 発生圃場率4.1%、株当たり虫数0.00頭)。

ウ 7月3半旬の県予察圃場(無防除)調査の結果、発生を認めなかった(平年 寄生株率1.5%、株当たり虫数0.02頭)。

エ トビイロウンカはセジロウンカと同時期に飛来する 경우가多く、主な飛来は7月1半旬と推測される。

(2) コブノメイガ

ア 6月12日にフェロモントラップ、蛍光灯採集箱(諫早市)で誘殺を初確認し、6月4~5半旬、7月1~2半旬に誘殺が認められた。

イ 県内各地(長崎市琴海戸根、諫早市、佐世保市、五島市、壱岐市、対馬市、波佐見町)のフェロモントラップでの誘殺数はやや少ない状況である。

ウ 7月上旬の巡回調査(89筆)の結果、食害株率は0.3%(平年 1.4%)、発生圃場率は11.2%(平年 19.1%)と平年よりやや少なかった。

エ 7月3半旬の県予察圃場(無防除)調査の結果、食害株の発生は認めなかった(平年 14.8%)。

2. 防除対策

(1) トビイロウンカ

ア 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。

イ 飛来波の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、防除適期は8月4半旬と予想される。

ウ 株元を好んで寄生するので、株元へ十分に薬剤が付着するよう丁寧に薬剤散布を行う。

エ 今後の圃場での発生状況に十分注意し、7月下旬~8月上旬に100株当たり20頭以上の成虫の寄生が認められる場合、幼虫ふ化揃い期に防除を行う。

(2) コブノメイガ

ア 圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、圃場の見回りを徹底する。

イ 飛来波の今後の発生予測は別紙図のとおりであり、薬剤散布は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤では成虫発生最盛期に行う。

ウ ロムダン(テブフェノジド)粉剤・液剤散布の場合は残効が長いので、防除適期は8月3～4半旬、
パダン(カルタップ)粉剤・液剤散布の場合は、防除適期は8月2～3半旬と予想される。

また、パダン(カルタップ)粒剤散布の場合は、8月1～2半旬と予想される。

6月1日から8月31日までの3ヶ月間を「農薬危害防止月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

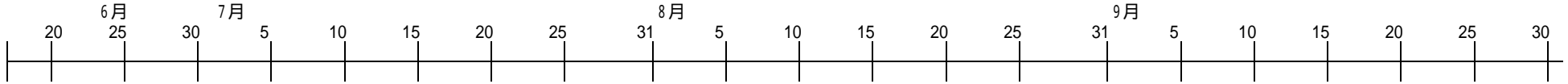
(図) トビイロウンカ、コブノメイガの発生予測図(平成23年)

1. トビイロウンカ



7月4日	成虫	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫
------	----	---	----	----	---	----	----	---	----

2. コブノメイガ



6月17日	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫
-------	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

7月4日	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫	蛹	成虫	卵	幼虫
------	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

発生予測の気温は諫早市貝津町(農林技術開発センター)のデータを用いた(7月13日まで実測値、14日以降は平年値)